

アクア・トト ぎふ

「いのちのカプセルたまご展」開催につきまして

岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ（岐阜県各務原市 館長 堀由紀子）では、魚類や両生類などの卵や赤ちゃんについてスポットを当ててご紹介する、「いのちのカプセルたまご展」を開催いたします。

数百個、数千個、あるいは数億個のたまごの中で、生き残って大人になるのは、ほんの一握りだけ。あるものは、たまごのうちに、カビたり、流されたりしてしまうでしょう。またあるものは、子どものうちに他の生き物に食べられてしまうでしょう。またあるものは、大人になる寸前に、人間に捕まえられるかもしれません。そんな厳しい自然のなかで、一生懸命生き抜いたものだけが、やがて大人になり、自分の子孫を残すことができます。2つの命が合体して、その一生のうちに、ふたつの命を残すことさえできれば、生き物は減りません。そのふたつの命を残すための事情が、たまごには秘められているのです。今回の特別企画展示では、そういった生命誕生の不思議についてご紹介いたします。

「いのちのカプセルたまご展」

- 展示日：平成20年3月20日～4月22日 ※最終日は16:00まで
- 場 所：岐阜県世界淡水魚園水族館“アクア・トト ぎふ” 1階特別企画展示スペース
- 内 容：魚類や両生類などの卵の展示、パネル解説、映像、クイズ、生き残りゲームなど
- 料 金：入館料のみでご覧いただけます

※生物の体調などにより展示内容が変更になる場合があります。

魚のたまご

魚のたまごには「浮くたまご」と「しずむたまご」、「くつつくたまご」があります。川にすむ魚の多くは、水草や岩などにくつつく卵や、小石のすき間にかくせるようなしずむたまごを産みます。

上流・中流・下流と水の温度にちがいがることや、流されていくと海に到達してしまうことなどから、川にすむ魚たちは、くつつくたまごや沈むたまごを産むようになったと考えられます。

反対に、外洋にすむほとんどの魚は浮くたまごを産みます。深い海の底は、水の温度が低く、ふ化した稚魚のエサになるプランクトンなどがあまりいないため沈まないようになっています。



<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせは>

岐阜県世界淡水魚園水族館 担当/北川・高木・堀江真子 TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201
※営業時間外のお問合せは 0586-89-8202

<お客様からのお問い合わせ先は>

岐阜県世界淡水魚園水族館(アクア・トト ぎふ) TEL:0586-89-8200 FAX:0586-89-8201
公式ホームページ <http://www.aquatotto.com>

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町 1453 河川環境楽園内